

Media Gateway Version 2.80

【Media Gatewayについて】

プロダクションコントロールソフトウェアPWA-MGW1は、マルチポートAVストレージユニットPWS-4500又はベースバンドプロセッサユニットBPU4800に収録されたファイルをメディアにアーカイブしたり、メディアに格納したファイルをPWS-4500にリトリブするソフトウェアです。オプティカルディスクアーカイブカートリッジおよびハードディスクドライブ、SxSドライブ、プロフェッショナルディスクドライブ、ネットワークドライブ、XDCAMをメディアとして使用できます。

【Media Gatewayの主な機能】

- ・ 内蔵ストレージ/USB-HDD/ODS-D55U/ODS-D77U/SxS Drive/Professional Disc Drive/Network Drive/XDCAMを利用して、簡単な操作でアーカイブ・リトリブができます。
- ・ UI APLからの指示により、4K Server上のクリップ、Playlist、Cutout Dataのアーカイブができます。
- ・ メディア上にあるクリップをプレビュー再生できます。
- ・ 4K Server上で記録中のRecord Trainを追っかけて内蔵ストレージ/USB-HDD/ODS-D55U/ODS-D77U/Professional Disc Drive/Network Drive/XDCAMへftp転送するISO RECができます。
- ・ USB-HDDを2台接続して、両方に同じクリップをアーカイブするミラーモードに対応しています。
- ・ Avidシステムなどの他社サーバーへのクリップのアーカイブ（転送）ができます。
- ・ アーカイブ・リトリブ時にビデオのトランスコードができます。
- ・ WAVファイルを4K Server上にリトリブすることができます。

【Operating System】

- Microsoft Windows Embedded 8 Standard
- Microsoft Windows Embedded 8.1 Industry Pro
- Microsoft Windows 10 IoT Enterprise 2016 LTSC

【対応Web Browser】

- Google Chrome 84
 - 本アプリケーションのインストーラーにて自動でインストールされます。

【関連プロダクト】

- Optical Disc Archive Driver Software : Ver5.0.1 以降
- Professional Disc Driver Software : Ver5.2.0 以降
- SxS UDF Driver:Ver.2.2.0 以降

【必要なソフトウェア】

- Apache Tomcat 9.0 Tomcat 9
 - 本アプリケーションのインストーラーにて自動でインストールされます。
- OpenJDK 8 Update 252 (64bit)
 - 本アプリケーションのインストーラーにて自動的にインストールされます。
- Catalyst Browse 2019.2.1
 - 専用のインストーラーにて別途インストールが必要です。

【対応機器】

- Optical Disc Archive System(ODS-D55U, ODS-D77U)
 - 取り扱い説明書に従いドライバーをインストールして下さい。
- SxS Drive(SBAC-US20、SBAC-US30、SBAC-UT100)
 - 取り扱い説明書に従いドライバーをインストールして下さい。
- Professional Disc Drive(PDW-U2)
 - 取り扱い説明書に従いドライバーをインストールして下さい。
- USB-HDD Drive

【インストール】

<インストーラーの入手>

- Intra eCSiteサイトからダウンロードしてください。
- インストーラー（MediaGateway2.8.0.92.exe）の形で提供されます。

<手順>

- Media Gatewayのインストーラーはアップグレードインストールに対応していません。

Media Gateway 1.1,1.2 が既にインストールされている環境では、コントロールパネルのプログラムと機能から以前のMedia Gateway,Apache Tomcat,Java及びMySQLをアンインストール後、新しいインストーラーを起動してください。

MySQLをアンインストールする場合は、下記のフォルダーも削除してください。

- ・ C:¥ProgramData¥MySQL (隠しフォルダーとなっている場合があります)

Media Gateway1.2以降のバージョンがインストールされている環境ではMySQLをアンインストールする必要はありません。コントロールパネルのプログラムと機能から以前のMedia GatewayとApache Tomcat、Javaをアンインストール後、新しいインストーラーを起動してください。

- Media Gatewayのインストーラーを起動するには、インストーラーをダブルクリックし、ガイダンスにしたがってインストールを進めてください。
- インストール終了後、Config Toolを起動して設定を行ってください。

<インストールキー>

- Media Gatewayをインストールするためには、本ソフトウェアの認証用のインストールキーが必要です。
- インストールキーはIntra eCSiteより取得して下さい。
- Media Gatewayがインストールされていた場合、下記フォルダのInstallkey.txtを参照して下さい。
¥ProgramData¥Sony¥Media Gateway

【使用上のご注意】

1. 本アプリケーションに関して

- 本アプリケーション以外のWebサービスがインストールされている場合は、本アプリケーションが正常に動作しない場合があります。

2. Web Browserに関して

- Chromeにおいてインストールされている拡張機能によって本アプリケーションが正常に動作しない場合があります。

3. Javaに関して

- Media GatewayのInstallerにはJavaが含まれています。Javaが既にインストールされている環境でInstallerを実行した場合、正常にインストールできない場合があります。必ずJavaをアンインストール後、Installerを起動してください。

4. 管理者パスワードに関して

- 管理者パスワードを忘れてしまった場合は、完全なアンインストールを行ってから、再インストールしてください。
(それまでのメタデータやデータベースは削除されますのでご注意ください。)

5. アンインストールに関して

- PWS-100MG1/PWS-110MG1 の廃棄等のために完全にアンインストールする場合は以下の手順を実行してください。

<Windows>

1. 以下の順で各ソフトウェアをアンインストール

(Windowsのソフトウェアアンインストール手順に従ってください。)

- MediaGateway
- Apache Tomcat9.0 Tomcat9
- MariaDB 10.2

2. 以下のフォルダーを削除

- C:¥ProgramData¥MariaDB (隠しフォルダーとなっている場合があります)
- C:¥Program Files¥MariaDB 10.2
- C:¥ProgramData¥Sony¥Meida Gateway (隠しフォルダーとなっている場合があります)
- C:¥Program Files¥Sony¥MeidaGateway

6. その他

- Archive時MXFファイルはDuration24時間で、MOVファイルはDuration8時間で自動的に切れ新しいファイルに継続して転送します。
- Transcodeをキャンセルした場合、内蔵ドライブのcache_mgwフォルダに転送中のClipが残る場合があります。手動で削除を行ってください。
- ISO RECでREC Mediaの容量がFullになった場合、メッセージが表示されますが、容量がFullになってから最大1分ぐらい遅れて表示される場合があります。
- ISO RECでREC Mediaの容量がFullになりメッセージが表示された場合は、速やかに跨ぎ先のMediaを用意してメッセージを閉じてください。
- ISO REC転送を行う場合、転送先のREC Mediaの空き容量は少なくとも20GByte程度確保するようにしてください。
- ProResのISO RECの場合、REC Mediaの容量がFullになると転送が失敗します。
- ProResの場合、追っかけ転送を途中で中止するとREC Mediaに素材は残りません。
- Avid ISIS Serverに複数台同時に接続する場合、コンピューター名をかぶらないように変更してください。
- Avid Interplayへ転送できる素材の長さは6時間までです。
- Avid Interplayへ転送するClipNameに全角文字及びファイルシステムで使用できない記号 (¥/:*"<>|) は使用できません。
- Watched Folder経由でTranscodeをとまなう転送を行った場合、Transcode中に新しいファイルがWatched Folderに追加されると複数同じファイルを転送してしまうことがあります。
- Watched Folder設定のName,Path両方を編集した場合、DBUpdateに失敗する場合があります。Name,Path両方の編集が必要な場合は、一旦削除して新規作成を行ってください。

- マシンの時刻を変更した場合はマシンの再起動が必要です。
- ネットワークパスを削除した直後又はネットワーク回線が切断した直後は同じIPアドレスのフォルダーを登録できない場合があります。しばらく時間が経ってから、改めて登録してください。
- Externalの設定変更は、DB情報の更新にしばらく時間がかかる場合があります。画面が更新されない場合は、しばらく待ってから再度更新を行ってください。
- プロダクションコントロールソフトウェア起動中、プロダクションコントロールソフトウェアでLoadしているClipがMedia Gatewayから削除が可能です。
- Catalyst Browseを起動した場合、MarkIn/Out点の表示が表示されない場合があります。
- リトリブ中に素材をCatalyst Browseで再生するとスムーズに再生されない場合があります。
- Catalyst Browseの上部メニューがWindowsシステムバーによりレイアウトが崩れる場合があります。
- Professional Diskへのアーカイブが停止したときに、ドライバーのエラーが表示される場合があります。
- XAVC HD C100をProfessional Diskへアーカイブしたい場合、Sony XDCAM Drive Softwareのバージョン5.0.9以降をご使用してください。
- 拡張子を含め36文字以上の名前のClipを4K Serverにリトリブするとエラーとなります。
- 転送エラーとなった場合、～付きのファイル名で途中までのファイルが残ることがあります。
- Network DriveとしてWindows共有フォルダを登録した場合、追っかけ転送ができません。[LinuxOS (Samba3) は可能です]
- DB Restoreを実施するとNASの設定情報が失われます。NASの設定情報を一旦削除し再度設定して下さい。
- Optical Discから複数のサーバーに対して同時にリトリブを行わないで下さい。
実施した場合はリトリブに失敗する場合がありますので、その場合は全てのリトリブが完了するのを待って、再度失敗したリトリブを実行して下さい。
- MirroMode設定したMediaからTranscode Retrieveはできません。Transcode Retrieveを行う場合はMirroModeを解除してください。
- PWS-4500から取得した素材でなかった場合、全角文字を用いたFileNameをPWS-4500へRetrieveすると失敗することがあります。
- アプリケーションで扱えるファイルパスの長さの最大は 256 文字です。257 文字以上の長さのパスのファイル、フォルダ操作、アーカイブ等の機能動作は保証しません。
- DVIでモニターと接続時、Catalyst Browse で再生するとスムーズに再生されない場合があります。その場合はモニターを DVI 以外 (HDMI, DP) で接続してください。
- BPU の HFR クリップをネットワーククリップとして含む Playlist を、ODS にアーカイブする際、ジョブがエラーすることがあります。その際は、BPU クリップの XAVC へのトランスコードが終了してからアーカイブを実行してください。

- Loop REC時の制約

- Loop RECをISO RECしている場合、1倍速以下の転送速度で転送中の位置に追いついてしまうとErrorで転送が終了します。その時点まで転送できたファイルは残ります。
- Loop REC開始後、Loop RECの領域を一巡するとISO RECは実行できなくなります。
- Loop REC領域の一定部分を記録した後に、記録の停止、再開を実施するとそれまでに記録された部分はその

- ・ ISO RECの転送速度について
 - Media Gateway(MGW)の転送速度は、使用するUSB-HDDの性能に大きく依存しますので、事前に使用するHDDの性能を確認して下さい。
 - MGWとPRCを同じPCに同居した場合は、PRCの操作状況により転送速度は低下します。
 - MGWとProduction Control Software (PRC)を同じPCに同居しない場合、4K - 4本が1倍速で同時転送できます。

- ・ Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Google ChromeはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- ・ JavaおよびJavaに関連するすべて商標およびロゴマークは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Tomcatは、Apache Software Foundationの商標です。
- ・ Avid は、米国およびその他の国における、Avid Technology, Inc およびその子会社、またその他の会社の、商標または登録商標です。

Apache Tomcat: <http://tomcat.apache.org/>
Java: <http://java.com/>